

令和3年度事業報告書

1. 事業の概要

当財団では、公益法人制度の改革に伴い、平成25年7月1日に移行登記を完了して、一般財団法人川合京都仏教美術財団として新たな第一歩を踏み出しました。それまでの24年間の財団法人川合芳次郎記念京都仏教美術保存財団の実績を継承し、新しい定款に基づいて、京都府内の貴重な文化財の保存修理に対する助成金の交付と、財団が所有する歴史遺産の良好な保存管理、調査、公開などの事業を進め、文化財所有者に対する援助や関係諸機関への協力などを通じて、今後も京都府内の文化財保護事業に一定の役割を果たして参ります。

新理事長就任から2年になる令和3年度、当財団の持つ社会的責務を果たすために、新たな思いを忘れることなく事業を継続し充実させることに尽して参りました。文化財の保存修理への助成金の交付は、当財団発足以来の助成件数が200件を超え、助成総額も6,800万円近くに達しました。小さな財団のささやかな誇りです。一方で、木津川市加茂町の旧燈明寺の維持管理は、年数を経るに従って難しくなって来ました。江戸時代初期創建の庫裏も、毎年のように屋根の修理などの応急措置を施してはいますが老朽化は著しく、小さな財団の大きな悩みでもあります。

2. 会議の開催

(1) 令和3年度第1回理事会の開催

令和3年度第1回理事会は、令和3年5月29日(土)の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染防止のために会議の開催を断念し、当財団定款第32条第2項の規定により会議による決議を省略して、書面によって議決することとしました。

①決議があったものとみなされた事項の提案者 専務理事 片岡 肇

②決議があったものとするとみなされた日 令和3年6月2日(水)

③決議があったものとするとみなされた事項

(1)令和2年度に係る事業報告及び計算書類について承認する

(2)令和2年度に係る公益目的支出計画実施報告書について承認する

(3)「旅費規程」の一部改正について承認する。

(4)令和3年度第1回評議員会の招集の決定について承認する

④報告及び承認された事項

(1)報告事項－代表理事・業務執行理事の職務の執行状況

(2)承認事項－①理事選任候補者の推薦

②評議員選任候補者の推薦

⑤決議についての同意書への署名 理事総数7名中7名

⑥決議についての承認書への署名 監事1名中1名

(2) 令和3年度第1回評議員会の開催

日 時 令和3年6月23日(木) 午後3時から

場 所 法輪院会議室

出 席 評議員4名、監事1名、理事2名

議 題 ・議事録署名人の選任について

- ①決議事項 (1) 令和2年度に係る計算書類の承認について
(2) 「理事、監事及び評議員に対する報酬等並びに費用に関する規程」の一部改正について
(3) 役員を選任について
(4) 評議員会会長の選任について
- ②報告事項 (1) 令和2年度に係る事業報告について
(2) 令和2年度に係る公益目的支出計画実施報告書について

(4) 令和3年度第2回理事会の開催

- 日 時 令和4年3月28日(月) 午後3時から
- 場 所 法輪院会議室
- 出 席 理事総数7名中6名、監事1名中1名
- 議 題 ①決議事項 (1) 令和4年度に係る事業計画及び予算の承認について
(2) 令和3年度の修理助成金交付について
②報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告

3. 事業関係

(1) 公益目的支出計画実施報告書

「令和2年度に係る公益目的支出計画実施報告書」の提出(令和3年6月29日付/電子申請)

(2) 文化財修理助成事業

1) 令和3年度文化財修理助成金の予算

目安として、9件、2,700,000円を計上しました。

2) 助成金申請者募集の活動について

当財団のホームページに「令和3年度の文化財修理助成金の申請を受け付けています」という記事を掲載して応募を呼びかけました(令和3年11月22日掲載)。

3) 助成金事業修理状況調査会

令和3年度は10件の申請がありました。令和4年3月17日に理事4名、評議員1名、監事1名が参加して修理状況の調査を実施しました。うち8件については5つの業者の作業場(京都国立博物館内4業者7件、その他1業者1件)で、担当者から説明を受けて、いずれも順調に進められていることを確認しました。なお残る2件についてはすでに修理が完了して所有者に戻されているなどで、調査を見送りました。

4) 令和3年度文化財修理助成金交付内容の確定

事務局による交付申請書の精査と理事らによる修理状況の調査に基づき、理事会の議決を経て、申請のあった10件のいずれも「助成相当」と判断し、令和3年度の助成を、以下の10件、2,820,000円と確定しました。

1. 宮津市指定文化財	仏涅槃図	1幅	300,000円
2. 重要文化財	「勅撰和歌集」「私家集」 「冷泉家歌書類」	2帖/12冊/ 7冊	300,000円
3. 重要文化財	妙頭寺文書	縦紙 427点 縦一冊 27点	300,000円
4. 京都府指定文化財	報恩寺本堂障壁画 塩川文麟筆	8面	120,000円
5. 京都府指定文化財	木造阿弥陀如来及両脇侍像	3軀	300,000円

6. 重要文化財	「八瀬童子関係資料」のうち 文書・記録類	23点	300,000円
7. 京都府暫定登録文化財	社額「正一位向日大明神」	1面	300,000円
8. 京都市登録文化財	木造金剛力士像面部残欠	1点	300,000円
9. 京都市指定文化財	木造聖徳太子立像	1軀	300,000円
10. 京都府指定文化財	絹本著色日吉山王垂迹神曼荼羅 絹本著色日吉山王本地仏曼荼羅	1幅 1幅	300,000円

5) 令和3年度文化財修理助成金の支払い

各申請者に対する支払い(10件、2,820,000円)は、4月19日に完了しました。

(3) 情報公開について

◇ホームページ関連－公益財団法人京都高度技術研究所(ASTEM)に依頼

(1) 令和3年4月13日

- ①「情報の公開－開示」の更新(「事業計画書(令和2年度)」及び「収支予算書(令和2年度)」を削除し、「事業計画書(令和3年度)」及び「収支予算書(令和3年度)」に更新)
- ②「助成の実績」の更新(「これまでの助成実績」に令和2年度分を入れて更新)
- ③「助成の実績」の更新(「過去5年間の実績」の平成27年度分を削除し、令和2年度分を追加)

(2) 令和3年7月7日

- ①「情報の公開－公告」の更新(「貸借対照表(平成27年度)」を削除し、「貸借対照表(令和2年度)」を追加)
- ②「情報の公開－開示」の更新(「事業報告書(平成27年度)」を削除し、「事業報告書(令和2年度)」を追加)
- ③「川合京都仏教美術財団役員名簿」を更新

(3) 令和3年10月4日

- ①「お知らせ」令和3年度の旧燈明寺収蔵庫の公開について

(4) 令和3年11月22日

- ①「お知らせ」更新(「令和3年度の旧燈明寺収蔵庫の公開について」を削除)
- ②「お知らせ」更新(「令和3年度の旧燈明寺収蔵庫の公開が終了しました」を掲載)
- ③「お知らせ」更新(「令和3年度の文化財修理助成金の申請を受け付けています」を掲載)

(4) 文化遺産の保存活用等

◇木津川市加茂町所在の遺跡地関連

1) 維持管理

(1) 草刈り・剪定等

- ①旧燈明寺境内地の草刈り(年3回実施/5月15日・7月15日・10月15日)
- ②旧燈明寺境内の危険木の伐採と枝払い(5月14日)
- ③旧燈明寺境内地の庭木の剪定及び周辺の市道の樹木の枝払いの実施(9月15日)

(2) 維持管理業務の委託

旧燈明寺境内地全域の状況と建物の内外の状況の確認及び境内地の草刈りや庭木の剪定作業への立会い等の維持管理の業務について、NPO法人「ふるさと案内・かも」と「管理委託契約」を締結し、毎月1回の維持管理作業をお願いしております。今年度も維持管

理業務は毎回ほぼ3名の同法人会員によって誠実かつ的確に遂行されており、その内容等については、毎作業終了後に「日報」の提出をもって報告されています。

(3) 収蔵庫内照明のLED化工事(令和3年5月1日)

収蔵庫の修理及び環境整備の一環で、本年は照明のLED化を実施しました。LED照明器具に取り替えたのは、①風除室-1灯、②中央室2灯、③須弥壇-3灯、④展示ケース内-6灯の合計12灯でした。

(4) 庫裏南側第3層屋根の付け替え工事(令和3年5月10日~15日)

庫裏の南側第3層の屋根は、明治期かあるいは大正期に増築された部分の勝手口あたりに掛かる屋根です。この屋根の南端の垂木が折れ曲がっていることに数年前から気づいていて金属パイプで応急的に支えて来たのですが、屋根全体の損傷が著しいとの指摘があったため、全体の付け替え工事を実施しました。

(5) 案内板等の設置(令和3年10月23日)

昨年度設置した旧燈明寺の案内板(石段下)に続いて、収蔵庫前に「旧燈明寺本堂跡」の、三重塔跡への登り口に「旧燈明寺三重塔跡」のアルポリック製の案内板を新設し、また石造十三重塔と燈明寺型石燈籠及び梵鐘の前にはこれまでの説明板の上に貼り付ける形でアルポリック製のものを設置し、来場者の便宜を図ることに努めました。

2) 文化財の活用

① 収蔵庫の公開等

木津川市観光協会主催の「2021 秋 木津川市秘宝・秘仏特別公開」に協賛して、旧燈明寺の収蔵庫の公開を3日間実施しました。

◇公開期間 令和3年11月3日(水・祝)、6日(土)、7日(日)

午前10時から午後4時まで

◇公開内容 ・木造千手観音立像／木造十一面観音立像／木造不空罽索観音立像／木造聖観音立像／木造馬頭観音立像／不空罽索観音像内納入品(木造合体天部形立像 2点／観音像造立奉加結縁交名)

(以上、鎌倉時代、京都府指定文化財)

・「東明寺」銘軒丸瓦(室町時代)／「藤堂藩黒印状写」(安政2年)

・土蔵棟札・土蔵用鬼瓦(慶応2年)／「燈明寺境内絵図」(明治37年)

◇来場者数 11月3日(水・祝)-126名、6日(土)-100名、7日(日)-115名

合計 341名

◇監視・案内業務の委託 公開期間中の監視及び案内等の業務を地元のNPO法人「ふるさと案内・かも」に委託しました。

◇周知について

(1) 木津川市観光協会ホームページへの掲載

(2) 当財団ホームページへの掲載

◇感染症対策について

(1) コロナ禍の状況下での公開については難しい判断でしたが、当財団にとっての重要な事業の一つであり、毎年遠方から来て頂ける方もあることなどを考え、さらに木津川市観光協会を通じて他の社寺の取り組み状況等を確認して、感染症対策を十分に講じた上で実施しました。

(2) 新型コロナウイルスの感染症への対応としては、スタッフ向けのマニュアルに公

開中の感染症対策のあり方や来場者の誘導の手順を記し、対応の仕方を周知しました。また受付に「新型コロナ対策推進中」というポスターを掲示するとともに、マスクの着用と手指の消毒を促し、不所持の人のための予備のマスクを用意するなど、感染予防に留意しました。その結果、3日間の公開を特に問題無く終了することが出来ました。

4. 資金運用

◇当年度における資金運用は前年度と変わりはなく、新たな購入等はありませんでした。